

# 幸田廣報

臨時号

発行所 幸田村 愛知縣 印刷所 幸田村 愛知縣



## 講和会議の秋に

最近各地に養蚕復興大會、養蚕者大會などが活潑に開催されたり、中学生による自發的の一織養蚕が行われたりして、農村自体に養蚕熱が高まつたのみならず、新聞や雑誌に養蚕や生糸に關する記事が多くなり、ラジオ放送にも時々入れられるようになったことは實に感慨無量である。

終戦以來六星霜、その間我が國の變轉は實に目まぐるしい程であつた。八千万國民の等しく待望久しかりし講和の日も一人意義ある事であらう。この六年間には戦前日本よりもよくなつたところもあるが、日本にあるべきものが無くなつて居たり日本の長所や特色が忘れられたりして、凡そ日本の實情に添わない流行がしかも無反省に受入れられた結果すい分ちくはぐの日本になつてゐるような氣がする。

その昔強國のデンマークが國敗れて再建の苦惱の末、國民教育の徹底と耕作農業を一拭して酪農主義に國策を改めた結果、今日地上の樂園、農業王国として世界の羨望の國に成長して來たことは日本の國狀にとつて多

く学ぶべき点があると思う。勿論デンマークは周圍に大消費地をひかえ、酪農製品の販賣に地の利をもつことは日本の立地條件と全然異なる所であつて、従つて日本は、日本に適した酪農政策、其の政策を蚕糸主義とまでは云認なければ、少くもデンマークの酪農に思い及んで世界的商品である我が國の國策



## 今年の養蚕を顧みて

今年の養蚕界は年頭から活況を呈し、繭も相當の増産を期待されたが、遺憾乍ら本村ではこの期待を裏切つて前年と殆ど大差なく、産繭統計は三千貫弱となつてしまつたが、繭價は未曾有の高値だつたので、養蚕収入は一戸當り四万三千圓、前年に比べて二割七、八分の増収で養蚕農家の懐は大分潤つたわけである。

この間春蠶期の桑不足及び桑葉取引、夏蠶及び初秋蠶兩期の違作、晩秋蠶期の硬化病、各蠶期を通ずる生糸量歩合の増加や繭の兩面から検討を要する事象が極めて多かつた。今年の養蚕が一應終りを告げた今日その経過を顧みて仔細に検討を加え、今後に備へることはあながち徒事であるまい。そこで繭糸價の足取りや繭の生産事情を一互り回顧した上で、二、三の問題につ

いて検討を加えて見ることにする。

産業とし、民族産業として國民全体が直面目に反省して見る必要はなからうか。 特望の講和調印の秋を記念し新生日本の誕生を機會に日本並に日本國民に養蚕活對する反省と認識を得た人、特に蚕糸にたずさわる一員として熱願する次第である。

△繭糸價の足取り 横濱生糸市場の標準値について年頭以來の糸價の足取りを見ると、一月五月初取引の二十二万三千圓を出発点として上昇線を擡進し、二月二十一日には遂に三十萬圓となり、更に翌二十日にはこれを突破し、この儘推移すれば五十萬圓相場の現出するの夢でもないと思ふ。

その後も糸價は下向傾向も止めず七月中の平均は十九萬三千圓となり、八月に入つても更に續落し遂に十八萬圓台を割るという安値に落ち込んだが、その後稍上向傾向を示し朝鮮の停戦會談打切聲明の行われた八月二十三日前後を契機として、俄然糸價はこれまでの歩調を改め多少の緩を見せ乍らも速日相場を居所を高めて行つた。丁度この頃から折衝を重ねられた初秋蠶繭の價格は、九月十九日に至つて八千六百掛と協定の成立を

だと見る向もあつたようだが、一般には繭糸布を中心とする織維類の値下り、金融逼迫、内外インフレの中ダラム等があげられた。何れにせよ、時恰も春蠶掃立を目捷に控えて、切角昂揚しておる養蚕意欲に及ぼす影響が眞に心配だつた。かくて春蠶掃立前後の糸價は、二十一萬圓台で一時小康を得ていたようであつたが、その後更に漸落して春蠶繭の出廻り當時には十八、九萬圓台となつた。このような情勢の下で団体協約により七月六日に漸く協定の成立を見た春繭の代金は、取引標準掛目八千四百四十四掛に郡下平均千二、三百掛程度の特別加算が行われ、合計九千七百掛見當で精算されたようであるが、繭の需給のアンバランスに因るとは言え、當時の糸況から見ると如何にも割高であつたように思われるし、この爲養蚕意欲を刺戟したことも否めないであらう。

見たが地方事情による加算金なども行われて、結局郡下平均九千掛近い価格で取引を終えたようである。

糸價はその後も上昇線を辿り九月の平均は前月に比べて三萬余圓も上廻り、その爲め養蠶農家は稚蠶期に於ける硬化病被害や桑の發育關係もあつたが、晩秋蠶の追掃更に晩々秋蠶の飼育に相當力を入れ、晩秋蠶繭の出廻りである十月も糸價は引續いて二十二萬圓台を往來し、この糸況を反影して十月二十六日に協定の成立を見た晩秋蠶繭の取引標準掛目は、即日縣養連から一萬八百掛と公表され、當地方は特殊事情も考へし一萬一千四百掛の協定を見、ここに未曾有の標準掛目を現出して、本年の繭取引は終りを告げる事になつた。以上のような繭糸價の足取りで、年間平均の掛目は恐らく前年の七千二百掛を相當上廻り、平均大凡一萬掛近くに落付くわけ。

▼繭の生産事情

年頭以來糸價の好調により、養蠶意欲は極めて旺盛で、何れも桑や手間が許す限りの計画を進め、繭も相當量の増産が期待されたのであるが、四月二十五日には郡下一帯に晩霜があり、そのため木曾川沿岸地帯、加茂の山間部で相當の減収が見込まれ、引續いて全般的に氣候が遅れ、氣温が低かつたので甚しく桑芽の伸長が遅えられ、殊に昨年ジエーン台風により激しく揉まれ

た桑園は目立って欠芽が多く減収も甚かつた。その爲め春蚕掃立量は前年に比べて多かつたにも拘らず、桑不足並びに桑葉價格の騰貴に因つて見蠶を投棄する者等も現われたが産繭量は期待に反して前年に比べて五%程度の増収となり、一千五百余貫に止まつた。

産繭の處理は前年同様養蠶團と繭需要者との間に、夫々團体協約を締結して公正圓滑な取引が行われるように推進されたのであるが郡外からも繭を需要する者多数の業者が來村したが養蠶者の紳士的な取引により、繭の振り賣、振り買が行われなかつた事は誠に嬉しい。

夏蚕及び初秋蚕は、春蚕の成績に刺戟されて前年に比べ二十%余の増産をしたが、七月の前半は連日降雨に見舞われるような極めて不順な天候に遭遇して、夏蚕及び七月末以降に掃立した初秋蚕には大部分軟化病、膿病等の發生を見て、その結果を非常に憂慮したが、それでも生繭量は前年より七%近く増加して十二萬三千余貫に達した。

この間地方により春蚕期に引續く桑葉の高値には大分悩まされたようだが、その反面桑問屋の中には春蚕期以來大分懐を暖めた者もあつたと言われ、そのため廣範圍に亘る桑葉の需給調査を實施して偉大な効果を挙げ、一方桑問屋の本年の口錢についても熱心に検討したが、こ

れ等の問題については養蠶業の圓滿な發達のために、全般的に何等か組織的な手が打たれる必要があらう。

晩秋蚕の掃立に直面して夏蚕期とは反對に早天續きに見舞われて、桑の發育が極めて悪いので稚蚕用桑の確保に困難を來たし、その上前に述べたように春蚕以來桑不足や桑高に悩まされた苦い経験に懲りた向もあつて、養蠶の掃立を極力内輪にした向もあつたので、掃立量は前年に比べて相當の減少を見た。而も稚蠶期には縣下一齊に硬化病が發生し、この爲め本村に於ては三眠起前後の蚕兒を殆ど投棄しようとした農家もある始末で、一時はどうなることかと憂慮したが、薬剤散布の強力一致の活動により幸い三眠起以後大休終息した。更に皮肉なことには掃立後の降雨によつて、桑の伸長が急速に良好となつたので多量の殘桑を見込まれるようになり、この爲め養蠶農家は競つて桑の畝を限り、蚕種のある限り晩秋蚕の追掃を行つた。が然し晩秋蚕の收繭量は追掃の繭を加えても前年より五%程度減少して、生繭量は一千余貫を少し上廻る程度になつてしまつた。

戦後養蠶業の統制撤廢以來毎年漸増傾向を示して來た本村の繭産額も、遺憾乍ら本年は前年に比べて一百余貫を減じて三千貫程度となり、桑園反當收繭量も十九貫七百六十五匁前後で、前年に比べて二%余りを減すに

至つたのは眞に残念だつた。然し乍ら繭檢定成績に示された生糸量歩合は、各蚕期を通じて一般に増加の成績を収めたことは色々な意味で關係者を非常に嬉ばしている。

昭和二十六年年度養蠶復興共進會要項

(抜萃のみ)

- 一、期日 十二月廿四日、廿五日
- 二、目的 この共進會は幸田村農産物品評會實施要領に基き村内養蠶意欲の昂揚、桑園能率の増進並に品質改善を圖り養蠶業の復興を圖るを目的とする。
- 三、四、五、要領省略
- 六、この共進會の審査は桑園反當收繭量及び一ヶ年生産數量並びに晩秋蠶繭品位等につき之を行つても審査長これを定める。
- 七、この共進會に於ける擬賞は左の範圍内に於て行ふ。
  - 優等賞 二点
  - 一等賞 一点に付 八〇〇圓
  - 二等賞 六點 五〇〇圓
  - 三等賞 三〇點 三〇〇圓
  - 四等賞 一〇〇點 一〇〇圓
- 八、この共進會の結果、特に優良な成績を収めたものについては地方事務所長賞、額田、岡崎養蠶販賣農業協同組合連合會長賞及び三龍社長賞又は三和織機株式會社社長賞の授與を申請す。

昭和二十六年年度養蠶復興共進會要項六の規定による審査要項

- 一、この共進會は幸田村農産物品評會實施要領によるものと規定の定むるところによる。
- 二、審査に次の三項につき綜合してこれを行ふ。
  - 1 上繭販賣數量
  - 2 桑園一反歩當り上繭販賣數量
  - 3 晩秋蠶繭出品一戸當り三〇匁成績
- 前項第一項及び第二項については満点を各四〇〇点とし第三項については二〇〇点を満点とし、總計一千点を以つて満点とす。以下順次減点し、その綜合点数により比較審査をする。
- 三、消略
- 四、桑園面積は昭和二十六年四月現在に於ける桑園登録面積より昭和二十四年十二月一日現在、同二十五年四月一日、同年十二月一日及び昭和二十六年四月一日現在に於ける桑園新改植面積の合計面積を減じた面積とす。
- 五、消略
- 六、第二項の審査成績に基き部落の立地條件を參照し審査員會の議を経て擬賞する。
- 七、この規定に定めぬ事項で審査の爲め必要なことは審査員會の議を経て審査長がこれを定める。

### 養蚕は如何に行うか

愛知縣蚕業試験場  
岩津支所 長  
波多野林三郎

昭和二十六年の養蚕も先ず順調に終りを告げた事は同慶に堪えないが本年の養蚕氣象はどちらかと言えば春夏秋を通じて不順であつた。

然し乍らその成績は前年を越す域にあることは明らかに技術の向上と養蚕家の熱心の賜物であると思ふ。

終戦後六年の歳月は国民生活を段々と向上させつゝあるが講和成立と共に経済界は相當の切換時期に立つものと見られる。

どんな姿になるかは別として兎に各輸出増強、産業振興は間違いない問題であるがこれを満足さす方法は差當り蚕糸を考へなくてはならないものである。

最近蚕糸業の最も大きな課題は繭糸價の安定であるがこれも結局成立するに違いない。

このような時節に到達している我が蚕糸業特に養蚕業がさて今後如何にして存在して行けば良いかは實に農村經濟上重要な事柄であると思ふ。

舊態依然の經營方式を固守し技術の面も消極的な安易性を求めて舊套を脱し切れないならば好轉しつつある蚕糸業に於ても失張り輝やかしい將來は望めないであらう。

繭糸價が安定すれば養蚕業から投機性は殆んど失われるから實業としての在り方である「優品少費多獲」の線に全部が集合されなければならない。

この線を確保するには技術尊重が第一である。現在の蚕糸技術は農事關係の中で最も出色し世界に比を見ないものになつてゐる。

具体的に例示すれば蚕品種は既に舊來の繭層歩合であつた十八%台を糸量にて現出し裁葉面も新桑品種の發見と合理的裁葉法の研究は完備に近い程の進歩である。

育蚕法についても經濟面と睨みあわせて危険性の少ない新飼育法が攻究され雅蠶飼育については略完成し研究者は目下壯蚕飼育の經濟面に頭を入れておるのが現状である。

このような時期に面しているのであるから日に新しい安全性の高い新技術を取り入れて身につけることがこの際大切である。

「養蚕は手のかかるものである」とか「危険性の多いものである」とか「危言を言ふ観念を拭うよう養蚕家が研究努力することこそ刻下の急務である。」

伸びんとする養蚕に氣安く入れる体制を先づ協同組合が作り上げ優秀な指導者の指導によつて全養蚕家が協力一致努力するところに輝かしい結果が生れる。

こんなことを考へて幸田村の養蚕復興を希望し併而筆者の微力を吝まない心を文字に表した次第である。

### 興農養蚕計畫

愈々興農養蚕の時期は到来しました。長い間の食糧政策のために養蚕に關する意識感心が薄らいで來た事は万幸認めざるを得ないであらう。而し「蚕」については二千年來の傳統を有し且つ我が國の風土に相當深い根據を持つだけに海外の雄飛需要は相當のもので、現在に於ては生産量よりも需給量が絶對多く毎年その不足を見る現況であり今後増々強く現れようとして居ります。一方購和を契機として自由貿易の範圍及び程度が擴大され、食糧の自由な供給圏も次第に全世界に廣げられ、各種制限も漸次消失するであらう。そして食糧統制がよく繼續される事があるにしても米、麥の價格が國際統制價格にますます接近する方行をたどることは確實である。はたしてこの時代は我が國の米作はかならず世界の米作

一方には低賃銀米、麥作は手ひどい強撃をうけることは覺悟せねばならぬ。かかる見解に對して米、麥は我が國の特別な適作物であつて、他からかような追壓を受ける事はないであらう。あるとすれば大變である。こゝうした特別観を早く改めて確實的な農業政策に早く取かかりましょう。

一、桑園の新設しよとすの方へ村の農業計畫に努力し桑園を

新設しよとすの方は相當額の補助獎勵致しますから早く植付畑地に桑苗の植付本數を決定し、部落養蚕役員(役員のない所は當該農協關係者)を通じて早く木組合へ申込まれない。

二、獎勵施設  
幸田村養蚕組合は桑園の新植改植、補植及び擴充更新者に對して

桑園一反歩當り 三、六〇〇圓  
(但し畦間一五、〇尺!畦間一、五尺)以内の助成をすることになつて居りますから大いに利用されたい事を希望する。

### 昭和二十六年度 部落別桑園擴充計畫

新植	改植	計
久保田 一五畝	一二畝	二七畝
坂崎 七五	一七	九二
大草 一五五	一九	一七四
高力 六〇	二九	八九
わした 六二	一七	七九
東新 四一	二七	六八
長嶺 三九	二七	六六
岩堀 八一	一〇五	一八六
西深溝 五〇	三〇	八〇
深溝 四三	二五	六八
本郷 三五	一三	四八
一ノ郷 一六	七	二三
海谷 四五	六	五一
芦谷 二二	一〇九	一三二
計 八二〇	四一八	一二三八

### 晩秋蚕掛目協定

十月二十六日に  
一〇、八〇〇掛に決る

縣養連對縣製糸協同組合では兼ねて晩秋蚕掛目協定を十月五日、二十日と折衝してきたが二十六日漸く圓滿に協定が成立され一〇、八〇〇掛(二等二等)としその他の條件は春、初秋蚕期同様にすることに決定された。

- 參考迄に十月三十日現在迄に決定された各縣掛目協定狀況は左の通り
- 福島縣(十月十八日決定) 1 取引掛目 二等二等 一〇、七〇〇掛
  - 2 指導費二五圓 集荷手數料六圓
  - 3 特殊事情のある地帯は兩者協議の上考慮する
  - 千葉縣(十月十九日決定) 1 標準掛目 二等二等 一〇、六〇〇掛
  - 岐阜縣(十月二十五日決定) 1 標準掛目 二等二等 一〇、八〇〇掛
  - 富山縣 1 標準掛目 二等二等 一〇、七〇〇掛
  - 新潟縣(十月二十九日決定) 1 標準掛目 二等二等 一〇、七〇〇掛

註新潟縣は初秋晩秋共に同掛目として協定し晩秋蚕期九月二十六日以降に獎勵金を參加したものである。

### 貞明皇后記念事業について

国民上下の尊崇の敬慕を集めておられた、貞明皇后が去る五月の半ば卒然として崩御せられましたことは、全日本人の驚きと悲しみでありました。とりわけ蚕糸絹業にたずさわる者にとつては取り返しつかない大きな不幸として深い悲しみを覚えます。

皇后は約五十年の長きにわたつて親しく御養蚕を遊ばされ、いつも蚕糸絹業を日本経済のため此の上もなく大切なものと考えられ、蚕糸絹業者をこよなく愛されたことは、改めて申し述べる必要はありません。

現に崩御の寸前まで蚕糸絹業御視察の事を御考えになつていられたという新聞や雑誌の報道はその一端を物語るものと思ひます。

そればかりでなく私どもは常々皇后を輝かしい最高指導者として大日本蚕糸会の總裁に戴き我々と共にお互の身邊にいて下さることを此上もない幸福に思つていました。

それだけに突然の崩御によるお互の落膽は言葉につくせぬものがあります。今の私どもとして共通の感情は、懐かしく有難い皇后を天上

から再びこの世にお迎えするすべはないものか、というはかない追慕の情でありそれが叶わぬ事としたら、せめて何らかの方法をもつて皇后の御高徳を記念し、末永くその面影を偲ぶ手たてはないかというのでありま

期せずして朝野に湧き上つたこのような悲願を結集して、このたび次のような案が出来上りました。

この記念事業は、つねづね皇后のお考えのあるところを想起して、これこそ皇后の御志にかなうものと信念にもとづいて立案されたものであります。

皇后はこの世における六十七年の御生涯を終られました。私どもは幸にこの記念事業によつて永くその高風を偲びつづけることができました。せめての

も仕合せと思ひます。どうぞ御賛同の上何分御協力を賜りたいものであります。

昭和廿六年十一月廿七日  
幸田村養蚕農業協同組合長  
江 貞 治

#### 貞明皇后記念事業要項

貞明皇后蚕を憐愍撫恤せられること限りなく、また蚕糸絹業の發達にいたく御心をそがれて、御自ら範を垂れさせ給いて、業界を御嚮導あらせられ、特に日進月歩の世運と新興繊維の躍進にかんがみ蚕糸絹に關する科学技術の研究及び普及を圖り、品質の改良と廉價多量生産の實

を擧げ、益々斯業の隆昌を圖るよう努力すべき旨屢々御諭示あらせられた。

今次皇后の計に達つて茲にその感激を新にし、御遺旨を休して左の施設を行ひ、もつて御懿徳を記念せんとするものである。

一、この施設は貞明皇后の御遺旨を休し蚕糸絹に關する科学技術の研究及び發明を奨励支援し、これが振興を圖り、蚕糸絹業改良發達に資すること

を目的とする。

二、この施設は、前項の目的を達するため、左の事業を行う。

1 蚕糸絹に關する科学技術の研究及び發明につき、斬新格別の成果を收め、さらにその應用または、高度の成果を期待し得る俊英なる研究者に對する賞金の授與。

2 蚕糸絹に關する科学的研究及び發明の助長または、奨励に必要な事項。

3 將來蚕糸絹に關する科学技術の研究、發明に従事することを学修目的とし、その成績特に優秀なる者に對する育英貸出。

三、この施設は「貞明皇后記念事業基金」を保有し、その果實を財源とし、予算及び規程の定むる所によりこれを行う前項の基金は業界の醸出金品及び国庫助成金を以てこれを充當する。

#### 貞明皇后記念事業基金醸出要項

一、貞明皇后御在世中、蚕糸絹業に垂れさせられた優厚なる御恩召を追慕奉謝し、その御旨を休して斯業の將來にそなえる記念施設を行うため、凡ての蚕糸絹業各階層關係者は至情をもつて任意且つ應分の醸金をなすものとする。但し地方事情により養蚕家個人においてその收購の一部を醸出することが出来る。

二、醸金は、貞明皇后御神靈に供え斯業の繁榮を祈念し關係者の至情を表明してその経過を奏上のうえ目的事業基金に充つるものとする。

#### 貞明皇后記念事業概要

一、事業基金  
概ね左の基金を保有し毎年その収益をもつて目的事業を行うものとする。

基金  
金貳千萬圓以上  
内金壹千万圓以上業界醸入金壹千萬圓也 国庫助成金(豫定)

二、事業經費(概算年額)  
(一) 収入一、五〇〇、〇〇〇圓  
基金收入其他

(二) 支出一、五〇〇、〇〇〇圓  
貞明皇后記念費  
奨學費 三〇〇、〇〇〇圓  
奨學貸費資金  
諸費 二〇〇、〇〇〇圓

#### 昭和二十六年度興農計画

(一) 奨學金は毎年審査委員會の決議を経て貸出しを爲し適當時期において年賦償還せしむるものとする。

(二) 奨學金は毎年審査委員會の決議を経て貸出しを爲し適當時期において年賦償還せしむるものとする。

現在 將來  
養蚕農家 一三五戸 六〇〇戸  
桑園反別 一八四反 八九〇町  
全一戸當 最高三五反 五反  
最少三畝 二反  
平均 一〇反 三反  
收穫量 三千貫 二万貫  
反當量 一五貫五七八匁 二三貫

新たな養蚕者の對照  
畑地の割合に多い農家  
21 勞力の割合に多い農家  
◎品種は壯蚕用等に適當なものを選び壯蚕用桑園を主として新設されたい

後記  
◇本年の養蚕尙育も漸く完了、「御苦勞様でした」不慣れた天候に悩まされ多難な養蚕尙育にもかかわらず相當な成績を収めた養蚕家始め指導者各位に感謝する次第です。

會議費雜費及び予備費  
国として十二月末日迄27萬圓  
愛知縣として十一月末日迄  
内譯 各郡市に割付  
額田 岡崎一三、七七〇圓  
大休一戸一〇圓 不足する所を郡連又は關係者  
備考(一) 賞金は審査委員會の決定する賞金を支出し該當事項を欠き又は剰余あるときはこれを積立つるものとする。